

芝生使用設計 (ゴルフ場例)

① ■グリーン	原液	希釈率	希釈液散布量
約1~2ヶ月毎	1~2cc/m ²	500倍~250倍	500cc/m ²
② ■フェアウェイ	原液	希釈率	希釈液散布量
約2~3ヶ月毎	0.5~1cc/m ²	500倍~250倍	250cc/m ²
③ ■障害場所のスポット散布	1~2cc/m ²	500倍~250倍	500cc/m ²

◎効果が見えにくい場合は散布回数を増やして状態を見て下さい。■ (公園等は水量約1千~2千倍)

■散布後乾燥しても、雨がふれば溶けて浸透していきます。(灌水は通常通り行って下さい)

■農薬と混合使用する場合は適宜農薬の希釈倍率に合わせてもよい。(理想は1~2ヶ月毎)

参考使用適期	使用目的時期の参考内容例
12~2月	* 根の活性と霜害の軽減 (地域による)。張替え時の活着促進「年中OK」。
3~5月	* 抵抗力の準備：綺麗な芝を作る；根を活発にさせ「細胞分裂が活発に」白い毛根を増やす事により春からの障害の軽減、他毎年続ける事で強く安定した芝、又土壌も良くしていく、根圏有効菌が殖え自然治癒力を高める。T/R比「上下のバランスを良く」の安定、根からおこる障害の予防、他。
6~7月上旬	* 夏の衰弱に備える、再度抵抗力を強化し毛根を増やす事により水分を蓄える丈夫な根を作っておく。根上り対策。
8~9月	* 根の活性により夏疲れの回復と予防。
10~11月	* 低温期、又次年度に向けて根の活性が低下する前に根を作っておく。

原液使用量と面積の例

■ 20L/1缶での原液 1cc/m²設計の場合、散布できる面積は 20,000 m²、原液 0.5cc/m²で 40,000 m²。

注) 設計し良いよう肥料分はほとんど入っていませんので、芝生・土壌に合わせ肥料を足して下さい。

■ 初回の使用場所又は問題発生場所の場合は、10-20日後に2回目を散布して下さい。

初回以降は、上記の時期別年間計画表を参考にして下さい。■ 草花他 1000倍以上；樹木 100倍。

■ 即効性：根が旺盛になる事により肥料分をよく (早く) 吸収するようになります。

■ 張替え時の活着が良く、発芽後の促進も。上下「T/R比」のバランスを良くします。

■ 根が旺盛になる事により、不活化されやすいリン酸を可給態リン酸に変え吸収し良くします。

○根圏有効菌を殖やし土着の有効微生物も殖え、自然治癒力を高め様々な相乗効果。

「主要成分」

■ 数千種生息する枯草菌属の中の強力な菌の代謝物を独自特殊製法で濃縮し強力にした成分に、植物に必要な下記有機原料を少量配合しています。

■ 発酵鶏糞エキス：木炭：動物エキス：植物エキス
窒素 0.5%：リン酸 0.03%：加里 0.18%

★本品は80℃で5時間の殺菌処理をしています。

★灌水は通常通り行って下さい。

★保存は直射日光をさけ、涼しい場所に置いて下さい。

★未開封の場合5年間保存できますが、早めの使用をお勧めします。(開封後はなるべく早く使用して下さい)

安全性試験：日本食品分析センター。効果試験：林業試験場、JA、他。

■ 根腐れ・いや地・根上り (サマーディクライン) 根の障害、根が酸化しにくい、軟弱徒長をさせない、年間の活性と同時に土壌作りも。

■ 病害の場合、病気に対する適合農薬との混合使用をおすすめします。(相乗作用が期待できます)

■ 必要肥料の同時混合散布をする事により肥料吸収も良くなり相乗効果、作業効率アップにも。

注) 「石灰硫黄合剤」との混合は有毒ガス発生の恐れがあり危険ですから混用は行わないこと。

発売元 有限会社日本環境グリーン
本社 〒656-0031 洲本市千草甲30番地
TEL 0799-26-3133 FAX 0799-26-3135
販売 北部緑地株式会社
〒116-0002 東京都荒川区荒川5-4-3
TEL 03-3805-7261 FAX 03-3805-7365

[取扱店]